日本教育心理学会第 57 回総会を終えて

第 57 回総会準備委員長

大 浦 容 子

(新潟大学)

Address by the Chairperson of the Organizing Committee

YOKO OURA

(NIIGATA UNIVERSITY)

2015 年 8 月 26 日～28 日に新潟コンベンションセンター（朱鷺メッセ）で開催しました日本教育心理学会第 57 回総会には、会員の方 1,090 名、会員外の方 402 名、学部学生 65 名、合計 1,557 名の方にご参加いただきました。残暑厳しい時期の開催でしたが、それにもかかわらず多くの皆様にご参加いただきましたことに、心より御礼申し上げます。

発表内容は、準備委員会企画の招待講演 2 件、シンポジウム 5 件、研究委員会企画のシンポジウム 4 件、チュートリアルセミナー 1 件、ハラスメント防止委員会企画講演 1 件、自主企画シンポジウム 46 件、ポスター発表 599 件でした。

ポスター発表の内訳は、発表が 109 件、教授・学習・認知が 203 件、社会が 67 件、人格が 18 件、臨床が 48 件、特別支援が 34 件、学校心理学が 90 件、測定・評価・研究法が 30 件です。

これらの発表につきましては、その要旨が『日本教

育心理学会第 57 回総会発表論文集』に掲載されていますが、以下の URL より、今後も継続して閲覧することができますので、ご活用いただければ幸いです。

「日本教育心理学会 総会発表論文集検索」

<https://confit.atlas.jp/guide/organizer/edupsych/events>

なお今回の総会は、会場との契約や会計業務等については日本教育心理学会事務局が担当くださいました。準備委員会は、会場との事前打ち合せ、プログラム編成および当日の運営を担当しましたが、事務局から全面的な支援をいただき、効率的に準備を進めることができました。また、前年度の担当校である神戸大学の先生方からは様々なノウハウを伝授いただき、当日の運営をスムーズに進めるための準備をする上で大きな助けになりました。開催にあたり、ご支援くださいました多くの方々に感謝いたします。

ありがとうございました。